

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	無期限 (2009年7月31日設定)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	東京海上・ニッポン世界債券ファンド 「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」を主要投資対象とします。	
投資制限	東京海上・ニッポン世界債券ファンド 日系発行体（日本企業もしくはその子会社、日本の政府機関等）が世界で発行する外貨建ての債券等を主要投資対象とします。	
分配方針	東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> 東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	

## 東京海上・ニッポン世界債券ファンド

### 運用報告書（全体版）

第189期	(決算日	2025年6月20日)
第190期	(決算日	2025年7月22日)
第191期	(決算日	2025年8月20日)
第192期	(決算日	2025年9月22日)
第193期	(決算日	2025年10月20日)
第194期	(決算日	2025年11月20日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・ニッポン世界債券ファンド」は、このたび、第194期の決算を行いましたので、第189期～第194期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。  
また、一印は組み入れまたは売買がないことなどを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配額)	債券組入比率					純 総 資 産 額
		債 組	入	比 率	券 率	資 産 額	
165期(2023年6月20日)	円 9,434	円		%	%	百万円	1,404
166期(2023年7月20日)	9,317	40	3.8	96.3			1,396
167期(2023年8月21日)	9,319	40	0.5	99.3			1,400
168期(2023年9月20日)	9,408	40	1.4	98.6			1,422
169期(2023年10月20日)	9,303	40	△0.7	98.4			1,406
170期(2023年11月20日)	9,611	40	3.7	97.7			1,440
171期(2023年12月20日)	9,531	40	△0.4	96.9			1,397
172期(2024年1月22日)	9,669	40	1.9	98.8			1,438
173期(2024年2月20日)	9,689	40	0.6	98.2			1,427
174期(2024年3月21日)	9,810	40	1.7	98.2			1,415
175期(2024年4月22日)	9,794	40	0.2	98.8			1,393
176期(2024年5月20日)	10,119	40	3.7	97.4			1,417
177期(2024年6月20日)	10,233	40	1.5	98.4			1,435
178期(2024年7月22日)	10,279	40	0.8	97.4			1,442
179期(2024年8月20日)	9,712	40	△5.1	93.0			1,357
180期(2024年9月20日)	9,606	40	△0.7	95.6			1,332
181期(2024年10月21日)	9,805	40	2.5	98.6			1,354
182期(2024年11月20日)	9,896	40	1.3	98.0			1,366
183期(2024年12月20日)	9,801	40	△0.6	98.4			1,359
184期(2025年1月20日)	9,624	40	△1.4	97.0			1,322
185期(2025年2月20日)	9,464	40	△1.2	96.7			1,290
186期(2025年3月21日)	9,482	40	0.6	96.2			1,289
187期(2025年4月21日)	9,112	40	△3.5	95.1			1,238
188期(2025年5月20日)	9,331	40	2.8	95.4			1,258
189期(2025年6月20日)	9,460	40	1.8	97.4			1,267
190期(2025年7月22日)	9,686	40	2.8	98.4			1,285
191期(2025年8月20日)	9,700	40	0.6	98.1			1,275
192期(2025年9月22日)	9,895	40	2.4	98.7			1,303
193期(2025年10月20日)	10,027	40	1.7	93.9			1,301
194期(2025年11月20日)	10,312	40	3.2	98.4			1,319

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額			債組入比率	券率
			騰	落	率%	
第189期	(期 首) 2025年 5月 20日	円 9,331		—	% —	% 95.4
	5月末	9,299		△0.3		96.8
	(期 末) 2025年 6月 20日	9,500		1.8		97.4
第190期	(期 首) 2025年 6月 20日	9,460		—		97.4
	6月末	9,555		1.0		96.4
	(期 末) 2025年 7月 22日	9,726		2.8		98.4
第191期	(期 首) 2025年 7月 22日	9,686		—		98.4
	7月末	9,719		0.3		98.0
	(期 末) 2025年 8月 20日	9,740		0.6		98.1
第192期	(期 首) 2025年 8月 20日	9,700		—		98.1
	8月末	9,739		0.4		97.2
	(期 末) 2025年 9月 22日	9,935		2.4		98.7
第193期	(期 首) 2025年 9月 22日	9,895		—		98.7
	9月末	9,912		0.2		97.5
	(期 末) 2025年10月 20日	10,067		1.7		93.9
第194期	(期 首) 2025年10月 20日	10,027		—		93.9
	10月末	10,216		1.9		97.7
	(期 末) 2025年11月 20日	10,352		3.2		98.4

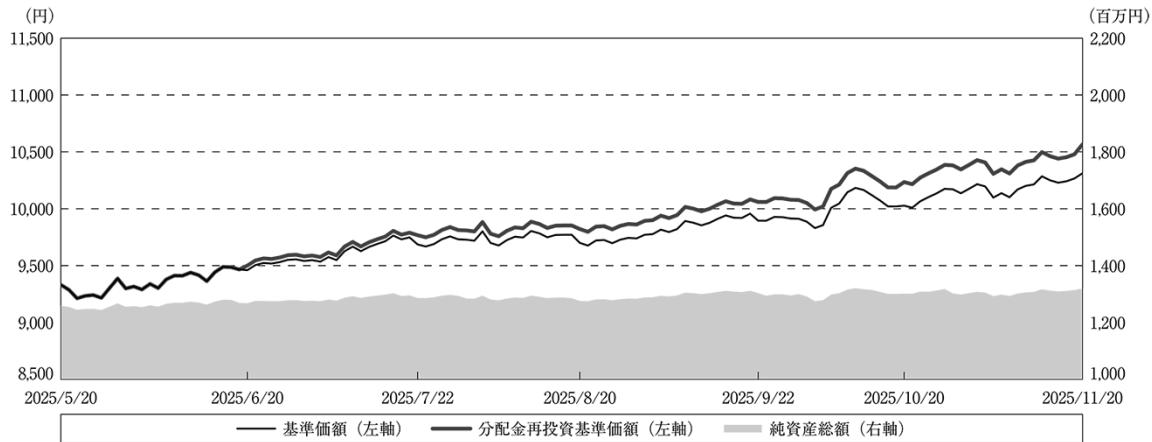
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

(2025年5月21日～2025年11月20日)

## ■作成期間中の基準価額等の推移



第189期首：9,331円

第194期末：10,312円（既払分配金(税込み)：240円）

騰落率：13.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指指数化しています。

## ◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・保有する債券の利息収入
- ・FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げを背景とした米国債利回りの低下（債券価格の上昇）
- ・米国の好調な企業業績や利下げが米国経済を下支えするとの期待から、社債スプレッド（社債と国債の利回り格差）が縮小したこと
- ・国内財政拡張懸念などを背景とする円安米ドル高の進行

マイナス要因

- ・中央銀行による利下げ終了観測の高まりを背景としたドイツ・オーストラリア国債利回りの上昇（債券価格の下落）

## ■投資環境

### 【外国債券市場】

米国債利回りは低下しました。作成期前半は、軟調な米国の雇用関連指標を受けてFRBが利下げを再開したことから、米国債利回りは低下基調で推移しました。作成期後半は、今後の利下げ観測が後退したことから米国債利回りが上昇する局面があつたものの、おおむね横ばい圏で推移し、作成期を通しては低下しました。

ドイツ債利回りは、米中対立激化や米国地銀の信用不安が嫌気されて低下する局面もありましたが、ECB（欧州中央銀行）の利下げ終了観測の高まりを背景に、作成期を通じて上昇基調で推移しました。

オーストラリア債利回りは、RBA（オーストラリア準備銀行）が追加の金融緩和に慎重な姿勢を示したことなどから、上昇基調で推移しました。

### 【日系外貨建社債市場】

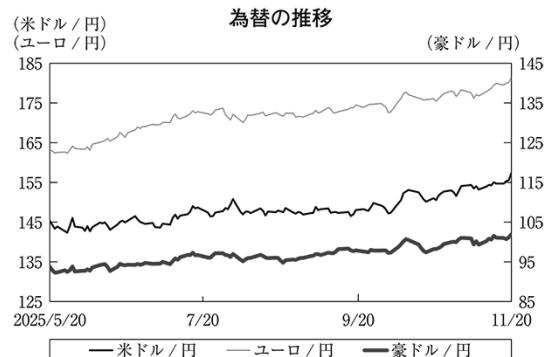
グローバルの社債スプレッドは縮小しました。米国の自動車関連企業の破綻や地銀の信用不安から警戒感が高まる局面もありましたが、米国的好調な企業業績やFRBによる利下げが米国経済を下支えするとの期待から、スプレッドは縮小しました。

当ファンドが実質的に投資対象とする日系外貨建社債についても、同様の動きとなりました。

### 【為替市場】

米ドル円為替レートは円安米ドル高となりました。作成期前半は、米国による関税交渉の進展に伴い市場心理が改善し、米ドルを買い戻す動きが優勢となつたことなどから円安米ドル高基調で推移しました。作成期後半は、石破首相の退任および高市政権の誕生を受けた日本の財政拡張懸念や、FRBの利下げ観測後退などから、円安米ドル高が進行しました。

ユーロ円および豪ドル円為替レートは、ECBおよびRBAによる利下げ打ち止めが意識されたことや、日本の財政規律悪化への懸念などから、円安が進行しました。



## ■ポートフォリオについて

### ＜東京海上・ニッポン世界債券ファンド＞

「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、マザーファンドの値動きを反映し、13.2%上昇しました。

### ＜東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド＞

#### 【日系外貨建社債の組み入れについて】

作成期間を通じて、日系外貨建社債の組入比率は、おおむね90%超を維持しました。

組入セクターは、金融機関、商社や通信などの業種分散に留意しました。

#### 【通貨配分について】

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれおおむね1/3ずつ投資しました（債券の保有比率は、期を通じて北米通貨圏が90%程度となつていますが、通貨の配分がおおむね1/3ずつとなるように為替予約取引を利用して調整しました）。

## 【デュレーションについて】

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内になるようオペレーションを行いました。

## 【運用結果】

以上の運用の結果、基準価額は14.0%上昇しました。

## ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

## ■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかつた収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

## ◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第189期	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期
	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.421%	40 0.411%	40 0.411%	40 0.403%	40 0.397%	40 0.386%
当期の収益	20	36	29	20	30	30
当期の収益以外	20	3	10	20	10	10
翌期繰越分配対象額	2,388	2,384	2,374	2,373	2,367	2,621

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

## &lt;東京海上・ニッポン世界債券ファンド&gt;

「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。

## &lt;東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド&gt;

## 【日系外貨建社債の組み入れについて】

現在の比率を維持し、景気情勢や市場動向を見極めつつ、組入銘柄を柔軟に変更する方針です。

## 【通貨配分について】

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれ1/3ずつ投資する方針です。

## 【デュレーションについて】

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内となるようオペレーションを行う方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2025年5月21日～2025年11月20日)

項目	第189期～第194期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 *委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価 *購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 *運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
	60	0.621	
	(30)	(0.305)	
	(30)	(0.305)	
(受託会社)	(1)	(0.011)	
(b) その他の費用	1	0.011	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 *保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 *監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 *その他は、信託事務等に要する諸費用
	(1)	(0.006)	
	(1)	(0.006)	
	(0)	(0.000)	
合計	61	0.632	
作成期間の平均基準価額は、9,740円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

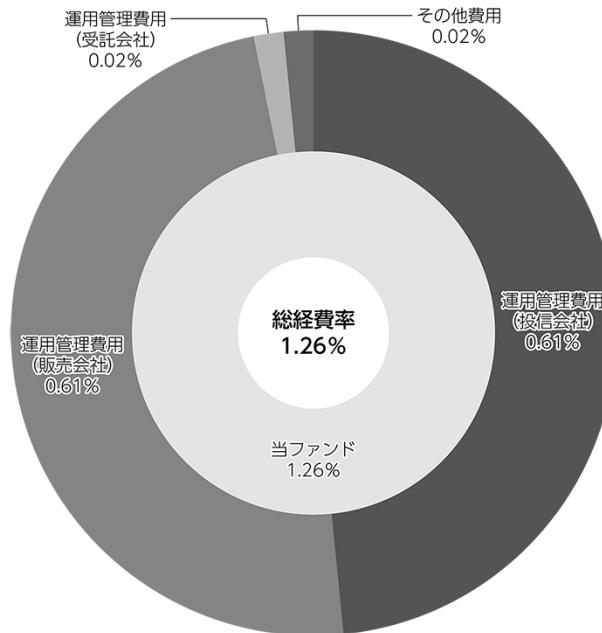
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年5月21日～2025年11月20日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第189期～第194期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	千口 14,476	千円 34,561	千口 59,428	千円 142,117

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年5月21日～2025年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年11月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第188期末		第194期末	
	口 数	千口	口 数	評 価 額
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	563,934	千口 518,982	千円 1,319,876	千円 1,319,876

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2025年11月20日現在)

項 目	第194期末	
	評 価 額	比 率
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	千円 1,319,876	% 99.5
コール・ローン等、その他	6,651	0.5
投資信託財産総額	1,326,527	100.0

(注) 東京海上・ニッポン世界債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（30,577,237千円）の投資信託財産総額（31,084,588千円）に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=157.29円、1ユーロ=181.34円、1豪ドル=101.96円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第189期末	第190期末	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末
	2025年6月20日現在	2025年7月22日現在	2025年8月20日現在	2025年9月22日現在	2025年10月20日現在	2025年11月20日現在
(A) 資産	円	円	円	円	円	円
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド(評価額)	1,282,876,730	1,293,991,538	1,285,126,707	1,310,371,152	1,307,800,571	1,326,527,845
未収入金	1,267,700,810	1,285,962,810	1,275,802,894	1,303,311,623	1,301,368,707	1,319,876,535
(B) 負債	円	円	円	円	円	円
未払収益分配金	15,175,920	8,028,728	9,323,813	7,059,529	6,431,864	6,651,310
未払解約金	5,360,117	5,310,593	5,260,903	5,268,532	5,191,609	5,119,706
未払信託報酬	8,485,119	1,319,550	2,790,420	336,270	—	152,908
その他未払費用	1,318,925	1,386,220	1,261,240	1,441,868	1,229,295	1,366,507
(C) 純資産総額(A-B)	1,267,700,810	1,285,962,810	1,275,802,894	1,303,311,623	1,301,368,707	1,319,876,535
元本	1,340,029,409	1,327,648,402	1,315,225,985	1,317,133,131	1,297,902,467	1,279,926,659
次期繰越損益金	△ 72,328,599	△ 41,685,592	△ 39,423,091	△ 13,821,508	3,466,240	39,949,876
(D) 受益権総口数	1,340,029,409口	1,327,648,402口	1,315,225,985口	1,317,133,131口	1,297,902,467口	1,279,926,659口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,460円	9,686円	9,700円	9,895円	10,027円	10,312円

(注) 当ファンドの第189期首元本額は1,348,895,417円、第189～194期中追加設定元本額は35,179,294円、第189～194期中一部解約元本額は104,148,052円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況

項目	第189期	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期
	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日
(A) 有価証券売買損益	24,072,025	36,663,939	8,397,956	32,355,257	23,361,919	42,999,115
売買益	24,788,450	37,025,624	8,657,966	32,537,084	23,663,205	43,368,584
売買損	△ 716,425	△ 361,685	△ 260,010	△ 181,827	△ 301,286	△ 369,469
(B) 信託報酬等	△ 1,330,684	△ 1,398,585	△ 1,272,490	△ 1,454,727	△ 1,240,255	△ 1,378,696
(C) 当期損益金 (A+B)	22,741,341	35,265,354	7,125,466	30,900,530	22,121,664	41,620,419
(D) 前期繰越損益金	55,964,409	75,119,340	103,780,762	105,418,718	130,266,791	145,938,077
(E) 追加信託差損益金	△145,674,232	△146,759,693	△145,068,416	△144,872,224	△143,730,606	△142,488,914
(配当等相当額)	( 163,098,501)	( 159,369,955)	( 158,348,775)	( 159,137,559)	( 155,938,939)	( 153,037,947)
(売買損益相当額)	(△308,772,733)	(△306,129,648)	(△303,417,191)	(△304,009,783)	(△299,669,545)	(△295,526,861)
(F) 計 (C+D+E)	△ 66,968,482	△ 36,374,999	△ 34,162,188	△ 8,552,976	8,657,849	45,069,582
(G) 収益分配金	△ 5,360,117	△ 5,310,593	△ 5,260,903	△ 5,268,532	△ 5,191,609	△ 5,119,706
次期繰越損益金 (F+G)	△ 72,328,599	△ 41,685,592	△ 39,423,091	△ 13,821,508	3,466,240	39,949,876
追加信託差損益金	△148,354,291	△146,759,693	△145,068,416	△147,506,490	△145,028,508	△143,768,841
(配当等相当額)	( 160,424,124)	( 159,375,912)	( 158,354,435)	( 156,512,069)	( 154,665,994)	( 151,766,249)
(売買損益相当額)	(△308,778,415)	(△306,135,605)	(△303,422,851)	(△304,018,559)	(△299,694,502)	(△295,535,090)
分配準備積立金	159,596,696	157,235,831	153,963,353	156,083,949	152,657,096	183,718,717
繰越損益金	△ 83,571,004	△ 52,161,730	△ 48,318,028	△ 22,398,967	△ 4,162,348	—

(注) (A) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項目	第189期	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期
	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日
a. 配当等収益(費用控除後)	4,381,439円	4,852,383円	3,923,811円	5,085,111円	4,457,763円	5,102,642円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	32,427,092円
c. 信託約款に規定する収益調整金	163,104,183円	159,375,912円	158,354,435円	159,146,335円	155,963,896円	153,046,176円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	157,895,315円	157,694,041円	155,300,445円	153,633,104円	152,093,040円	150,028,762円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	325,380,937円	321,922,336円	317,578,691円	317,864,550円	312,514,699円	340,604,672円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,428円	2,424円	2,414円	2,413円	2,407円	2,661円
g. 分配金	5,360,117円	5,310,593円	5,260,903円	5,268,532円	5,191,609円	5,119,706円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

## ○分配金のお知らせ

	第189期	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期
1万口当たり分配金(税込み)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド

## 運用報告書 第17期（決算日 2025年11月20日）

(計算期間 2024年11月21日～2025年11月20日)

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

また、一印は組み入れまたは売買がないことなどを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落		債組入比率	券率	純資産額
		騰	落			
13期(2021年11月22日)	円 18,130		% 7.6		% 100.3	百万円 62,371
14期(2022年11月21日)	18,710		3.2		96.0	46,809
15期(2023年11月20日)	20,953		12.0		97.7	43,125
16期(2024年11月20日)	22,936		9.5		98.0	35,819
17期(2025年11月20日)	25,432		10.9		98.4	30,599

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	期騰落		債組入比率	券率
		騰	落		
(期首) 2024年11月20日	円 22,936		% —		% 98.0
11月末	22,357		△ 2.5		97.1
12月末	22,909		△ 0.1		97.5
2025年1月末	22,489		△ 1.9		97.7
2月末	22,118		△ 3.6		96.3
3月末	22,472		△ 2.0		96.6
4月末	22,004		△ 4.1		94.7
5月末	22,250		△ 3.0		96.8
6月末	22,984		0.2		96.3
7月末	23,498		2.5		97.9
8月末	23,667		3.2		97.2
9月末	24,210		5.6		97.4
10月末	25,081		9.4		97.7
(期末) 2025年11月20日	25,432		10.9		98.4

(注) 謄落率は期首比です。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指標もないため、ベンチマーク、参考指標を記載していません。

## ○運用経過

(2024年11月21日～2025年11月20日)

## ■期中の基準価額等の推移

期 首：22,936円  
 期 末：25,432円  
 勝落率： 10.9%

## ◇基準価額の主な変動要因

## プラス要因

- ・保有する債券の利息収入
- ・米国労働市場の減速などを背景とした国債利回りの低下（債券価格の上昇）
- ・期後半、米国の好調な企業業績や利下げが米国経済を下支えするとの期待から、社債スプレッド（社債と国債の利回り格差）が縮小したこと
- ・国内政治の不透明感の高まりを受けた円安の進行



## マイナス要因

- ・期初、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待の後退などを背景とした米国債利回りの上昇（債券価格の下落）
- ・期半ば、トランプ米政権の関税政策による景気減速懸念を背景に、社債スプレッドが拡大したこと
- ・日銀の利上げにより内外金利差が縮小し、円高が進行する局面があったこと

## ■投資環境

## 【外国債券市場】

米国債利回りは低下しました。期初、トランプ米大統領の就任を受けた財政拡大懸念から過度な利下げ期待が後退し、米国債利回りは上昇したものの、その後、強硬な関税政策による景気下押し圧力が意識されるなかで、米国債利回りは低下に転じました。期半ばには、トランプ米政権の大規模な関税政策による景気の先行き不透明感の高まりから再度米国債利回りは上昇する局面もありましたが、労働市場の悪化懸念からFRBが利下げを再開したことを受け、期末にかけて低下基調で推移しました。

ドイツ債利回りは上昇しました。期前半、ドイツ政府が財政拡張政策に転換したことを見てドイツ債利回りは上昇し、期後半は、ECB（欧州中央銀行）の利下げ終了観測の高まりを背景に、安定的に推移しました。

オーストラリア債利回りは、期前半は米国債利回りに連動して低下し、期末にかけてRBA（オーストラリア準備銀行）が今後の追加緩和に慎重な姿勢を示したことから上昇しましたが、期を通しては低下しました。

## 【日系外貨建社債市場】

グローバルの社債スプレッドはおおむね横ばいとなりました。期中、米国の関税政策などに対する不透明感の高まりや景気減速懸念から、一時的に社債スプレッドが拡大する局面がありましたが、米国の好調な企業業績やFRBによる利下げが米国経済を下支えするとの期待から、スプレッドは縮小に転じました。

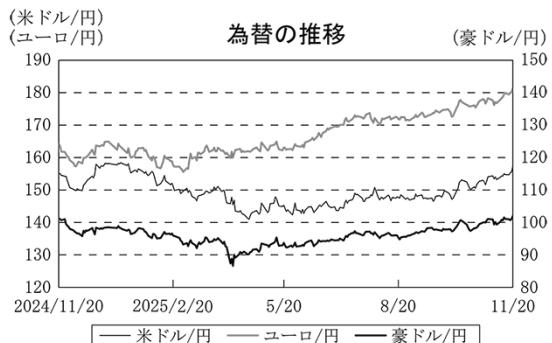
当ファンドが実質的に投資対象とする日系外貨建社債についても、同様の動きとなりました。

**【為替市場】**

米ドル円為替レートは円安米ドル高となりました。日銀の利上げや米国の関税政策を受けた逃避的な円買いによって、期半ばにかけて円高米ドル安となりましたが、その後、石破首相の退任および高市政権の誕生を受けた財政拡張懸念から、円安米ドル高が進行しました。

ユーロ円為替レートは、米国の関税政策を受けた世界的な米ドル離れによるユーロ買いや、日本国内における政治的不透明感から、円安ユーロ高が進行しました。

豪ドル円為替レートはおおむね米ドル円に連動して推移し、期を通して円安豪ドル高となりました。

**■ポートフォリオについて****【日系外貨建社債の組み入れについて】**

期を通じて、日系外貨建社債の組入比率は、おおむね90%超を維持しました。

組入セクターは、金融機関、商社や通信などの業種分散に留意しました。

**【通貨配分について】**

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれおおむね1/3ずつ投資しました（債券の保有比率は、期を通じて北米通貨圏が90%程度となっていますが、通貨の配分がおおむね1/3ずつとなるように為替予約取引を利用して調整しました）。

**【デュレーションについて】**

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内になるようオペレーションを行いました。

**【運用結果】**

以上の運用の結果、基準価額は10.9%上昇しました。

**○今後の運用方針****【日系外貨建社債の組み入れについて】**

現在の比率を維持し、景気情勢や市場動向を見極めつつ、組入銘柄を柔軟に変更する方針です。

**【通貨配分について】**

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれ1/3ずつ投資する方針です。

**【デュレーションについて】**

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内となるようオペレーションを行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年11月21日～2025年11月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用	円 2	% 0.010	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.010)	* 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	* その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	2	0.010	
期中の平均基準価額は、23,003円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2024年11月21日～2025年11月20日)

## 公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	特殊債券	千米ドル 4,132	千米ドル —
		社債券(投資法人債券を含む)	102,319	140,859 ( 11,000)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
		その他 社債券(投資法人債券を含む)	7,112	4,109
	オーストラリア		千豪ドル 709	千豪ドル —
		社債券(投資法人債券を含む)		

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません)

(注) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれていません。

(注) ユーロの「その他」にはユーロ圏以外の国がユーロ建てで発行したものを記載しています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年11月21日～2025年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年11月20日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 158,600	千米ドル 161,107	千円 25,340,549	% 82.8	% —	% 56.7	% 22.3	% 3.8
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
その他	13,500	13,848	2,511,272	8.2	—	6.4	1.8	—
オーストラリア	千豪ドル 21,700	千豪ドル 22,214	2,264,978	7.4	—	—	7.4	—
合計	—	—	30,116,801	98.4	—	63.1	31.6	3.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) ユーロの「その他」にはユーロ圏以外の国がユーロ建てで発行したものを記載しています。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) 特殊債券(除く金融債)	%	千米ドル	千米ドル	千円
DBJJP 4 1/2 01/30/34	4.5	4,000	4,071	640,355 2034/1/30
普通社債券(含む投資法人債券)				
CHIBAB 1.35 09/08/26	1.35	4,000	3,906	614,477 2026/9/8
CHUGEP 5.742 01/14/35	5.742	2,000	2,089	328,586 2035/1/14
CITOH 1.564 03/30/26	1.564	1,500	1,485	233,676 2026/3/30
FUKOKU 5 3/4 09/02/55	5.75	6,900	6,991	1,099,739 2055/9/2
HNDA 4.688 07/08/30	4.688	1,200	1,211	190,489 2030/7/8
JAPTOB 5 1/4 06/15/30	5.25	3,000	3,114	489,878 2030/6/15
JERA 4.544 09/02/30	4.544	4,000	3,998	628,996 2030/9/2
KYUSEL 5.246 09/09/35	5.246	2,000	2,023	318,198 2035/9/9
MITCO 5 1/8 07/17/34	5.125	8,000	8,247	1,297,245 2034/7/17
MITHCC 5.807 09/12/28	5.807	2,600	2,702	425,080 2028/9/12
MIZUHO 5.422 05/13/36	5.422	3,000	3,104	488,263 2036/5/13
MUFG 2.309 07/20/32	2.309	1,500	1,334	209,955 2032/7/20
MUFG 5.159 04/24/31	5.159	900	928	146,039 2031/4/24
MUFG 5.188 09/12/36	5.188	2,000	2,031	319,499 2036/9/12
MUFG 5.574 01/16/36	5.574	4,000	4,179	657,404 2036/1/16
MUFJLF 3.967 04/13/30	3.967	3,000	2,932	461,268 2030/4/13
MYLIFE 6.1 06/11/55	6.1	8,000	8,308	1,306,878 2055/6/11
NIPLIF 4.7 01/20/46	4.7	8,000	8,036	1,264,084 2046/1/20
NIPLIF 6.1/2 04/30/55	6.5	2,000	2,146	337,661 2055/4/30
NOMURA 4.904 07/01/30	4.904	6,000	6,082	956,646 2030/7/1
NORBK 5.094 10/16/29	5.094	4,000	4,080	641,818 2029/10/16
NORBK 5.359 09/09/35	5.359	2,000	2,027	318,888 2035/9/9
NTT 4.876 07/16/30	4.876	8,000	8,128	1,278,559 2030/7/16
NTT 5.171 07/16/32	5.171	5,500	5,634	886,254 2032/7/16
OLYMPU 2.143 12/08/26	2.143	2,000	1,956	307,756 2026/12/8
SEKIS 5.1 10/23/34	5.1	5,000	5,063	796,464 2034/10/23
SMBCAC 5.1 04/01/30	5.1	3,000	3,066	482,301 2030/4/1
SUMI 5.35 07/03/34	5.35	2,000	2,074	326,233 2034/7/3
SUMIBK 4.954 07/08/33	4.954	7,000	7,135	1,122,406 2033/7/8

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) 普通社債券(含む投資法人債券)	%	千米ドル	千米ドル	千円
SUMIBK 5.454 01/15/32	5.454	4,000	4,183	658,058 2032/1/15
SUMIFL 5.236 05/01/30	5.236	5,000	5,159	811,611 2030/5/1
SUMILF 4 09/14/77	4.0	5,000	4,974	782,500 2077/9/14
SUMILF 5 7/8 09/10/55	5.875	8,500	8,644	1,359,701 2055/9/10
SUMITR 5.35 03/07/34	5.35	8,000	8,321	1,308,811 2034/3/7
SVELEV 1.8 02/10/31	1.8	3,000	2,609	410,523 2031/2/10
TACHEM 5.3 07/05/34	5.3	6,000	6,167	970,056 2034/7/5
TOAUT 3.566 03/16/28	3.566	3,000	2,951	464,177 2028/3/16
小計				25,340,549
(ユーロ…その他) 普通社債券(含む投資法人債券)		千ユーロ	千ユーロ	
ASABRE 3.464 04/16/32	3.464	2,000	2,017	365,917 2032/4/16
MIZUHO 3.98 05/21/34	3.98	1,500	1,545	280,223 2034/5/21
MUFG 4.636 06/07/31	4.636	3,000	3,199	580,205 2031/6/7
NIPLIF 4.114 01/23/55	4.114	4,000	3,995	724,479 2055/1/23
NOMURA 3.459 05/28/30	3.459	1,000	1,010	183,329 2030/5/28
TOYOTA 3.85 07/24/30	3.85	2,000	2,079	377,116 2030/7/24
ユーロ計				2,511,272
(オーストラリア) 普通社債券(含む投資法人債券)		千豪ドル	千豪ドル	
MIZUHO 6.025 08/28/29	6.025	10,000	10,371	1,057,467 2029/8/28
ORIX 4.987 02/28/28	4.987	4,000	4,029	410,821 2028/2/28
TOYOTA 4 3/4 04/06/28	4.75	3,000	3,026	308,599 2028/4/6
TOYOTA 4.65 09/17/29	4.65	700	702	71,616 2029/9/17
TOYOTA 5.2 09/15/28	5.2	4,000	4,084	416,473 2028/9/15
小計				2,264,978
合計				30,116,801

- (注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信買賣相場の仲値で邦貨換算したものです。
- (注) ユーロの「その他」にはユーロ圏以外の国がユーロ建てで発行したものを記載しています。
- (注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。
- (注) 永久債は、実質的な償還日を記載しています。

## ○投資信託財産の構成

(2025年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 30,116,801	% 96.9
コール・ローン等、その他	967,787	3.1
投資信託財産総額	31,084,588	100.0

(注) 当期末における外貨建純資産(30,577,237千円)の投資信託財産総額(31,084,588千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したもので、なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=157.29円、1ユーロ=181.34円、1豪ドル=101.96円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 61,548,301,116
コール・ローン等	336,333,594
公社債(評価額)	30,116,801,161
未収入金	30,682,408,400
未収利息	403,146,384
前払費用	9,611,577
(B) 負債	30,948,941,981
未払金	30,786,816,400
未払解約金	162,125,581
(C) 純資産総額(A-B)	30,599,359,135
元本	12,031,712,878
次期繰越損益金	18,567,646,257
(D) 受益権総口数	12,031,712,878口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,432円

(注) 当親ファンドの期首元本額は15,617,523,442円、期中追加設定元本額は1,281,385,513円、期中一部解約元本額は4,867,196,077円です。

&lt;元本の内訳&gt;

東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり) 10,442,656,566円

東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)(年1回決算型) 1,070,073,717円

東京海上・ニッポン世界債券ファンド 518,982,595円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○お知らせ

2023年11月に成立した「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正の施行により、従来運用報告書の書面交付義務としていた規定が、電磁的方法を含む情報提供義務と改められることに伴い、2025年4月1日付で所要の約款変更を行いました。